

## ～熊本いいくに会青年会発足！&社員会開催～

開催日時：2005年7月29日（金）18:30～22:00

開催場所：熊本市国際交流会館4階 第1会議室にて

参加者：石原光太郎会長 栗谷利夫社長 石原靖也副社長 山田浩之社長 西川尚希社長  
熊本いいくに会社員会の皆さん  
熊本いいくに会青年会の皆さん（北川勇夫さん率いる泗水町出身の方々）

熊本いいくに会、新しい風が！それは「青年会」の発足。熊本をよくするために、自分たちに何が出来るか、ちゃんと考えていきたいという思いを持った若者たちの集まり。そしてそれに負けじといいくに会の社員会の皆さんも、何か楽しんで自分たちに出来ることを考えながら行動していきたいという思いを持って、今回は2つの会の方に集まっていただきました。



いいくに会に新しい会が発足する！そう聞いて駆けつけてくださった企業会の皆さん。まずは我々が石原会長から、いいくに会発足の経緯と、これからいいくに会への期待を含め、社員会の活躍と青年会の発足への期待を話していただきました。

次に石原副社長から、確実にいいくにの「わ」が広がってきていること、そしてこのいいくに会が決して想像の世界で終わらないことをお話していただきました。

こちらは企業会最年少の(株)キューネット西川社長。若くして社長になって考えたこと。それは社員と一緒に汗をかいて、何か一緒にやっていくこと。自分には何が出来るか、考えた時に、いいくに会というものがあつた。と、いいくに会に寄せる想いをお話していただきました。



続いて、社員会の説明を、(株)近代経営研究所の松崎さんから話していただきました。とても楽しく社員会のトイレバスターズとして活動している。会社と違うところは、何でもすぐ決まること。そして決まったら即実行というスピードの速さ。そしてみんな体を動かすというところ。それがこの社員会の一番面白いところだそうです！

そして今回発足した青年会代表北川勇夫さんから一言！

「世の中を良くして行きたいとは、常々思っていた。そして今回このいいくに会に出会った。世の中を良くしていくために、自分たちに何が出来るかを考えていきたい。そして、僕らが若者たちの起爆剤になりたい。楽しんで活動していきたい」この言葉に石原会長は「感動した！！素晴らしい！」と拍手！



(株)近代経営研究所の栗谷所長は、「1192年、鎌倉幕府が誕生。1868年、明治維新が起こり、明治時代に突入。そして2005年、新世紀地震が起こります！」と、この青年会と社員会の発足に大きなエネルギーを感じますとお話していただきました。栗谷所長の著書「民幕府」がきっかけとなって青年会発足に至ったこともあり、青年部の皆さんは真剣に耳を傾けておられました。

第1弾の、社員会・青年会の活動として、「火の国くまもと打ち水大作戦」の当日スタッフという役割が。時間的にも困難極まるこの役割を、社員会・青年会の皆さん共に、快く引き受けていただきました。

さて、打ち水大作戦に向けて、皆さんの想いが一つになったところで、今回の合同会議は幕を閉じました。これから、どんな活躍を見せてくださるのか、本当に楽しみです。みなさん、一緒にいいくにを創っていきましょう！！

